

精神の 〈北〉へ

vol.3 2014

あなたにとって、
精神の〈北〉とは？

Spirit of "North"

CHIBA Naoko

YAMANAKA Yushi

KANKE Hiroaki

MARUYAMA Yoshiko

ONO Yoshimasa

HASEGAWA Hiroshi

方位ではなく、特定の地域でもなく、
あなたの意識の中に思い浮かぶ〈北〉とは？

多様な分野のメンバーが、
フィールドの垣根を越えて想像するとき、
新たな時空の創造が始まります。

東北生まれの3名のアーティスト、
会津地方で活躍する3名の実践者が、
多彩なトークセッションを繰り広げます。

アーティストによるリサーチの軌跡や
思考の深化を示す作品の紹介とともに、
皆様の精神を〈北〉へと誘います。

2014年9月6日-7日 11:00~18:30 (7日は17:00まで)

トークセッション 9月7日 14:00~ 入場無料

東町蔵屋敷「会陽館」多目的スペース 福島県喜多方市字東町4088番地1

あなたにとって、精神の〈北〉とは？

展示

2014. 9月6日(土) 11:00-18:30・9月7日(日) 11:00~17:00

小野良昌・千葉奈穂子・丸山芳子 3名のアーティストによる会津リサーチの軌跡

フリートーク

2014. 9月6日(土) 16:30~18:30

3名のアーティストによるフリートーク。皆さんもふるってご参加を!

作品解説と茶話

トークセッション

第1部

2014. 9月7日(日) 14:00~15:00

アーティストと、会津地方での実践者による、20分の異分野クロストーク!

神談! 三者三様

小野良昌 (オノヨシマサ)

1955年福島県生まれ。現在、東京都在住。1984年からフリーランスフォトグラファーとして、主に商業分野で活動。1994年、st.CINQ設立。2001年よりビデオ撮影、企画制作も開始。3.11後の福島を撮影した作品も積極的に制作している。

飯前村飯種町田植え踊り 2013年



有機農業
アート

早稲谷へ行ってみよう~

長谷川浩 (ハセガワヒロシ)

岐阜県出身。農学博士。将来の人口減少・資源枯渇・気候変動に備えるため、福島県喜多方市山都町で築150年の古民家に住み、自ら消費するお米、小麦、大豆を自ら生産し、暖房と給湯には薪ボイラーを使っている。水は古民家の井戸水を活用。著書「食べものとエネルギーの自産自消」など。都市生活者が自産自消を体験できる「早稲谷大学」を開講している。



千葉奈穂子 (チバナオコ)

岩手県生まれ。現在酒田市在住。19世紀写真技法「サイアノタイプ」の技術を用いて、手紙和紙にプリントしている。初期から続く「Father's House」作品は家族の家を生誕撮影し、私たちの存在が社会的背景や歴史の中からどう生まれてきたのかを問う。また東北に暮らす人々の思いや風土をつづる作品等、写真、映像、立体を用いて制作。

「Father's Houseより(麦帽子)」2007年



歴史考古
アート

北を向いて、歩こう

山中雄志 (ヤマナカユウジ)

1960年生まれ。文学博士。(アジア文化史日本古代史・考古学分野) 今年4月より喜多方市役所まちづくり課勤務。前勤務部署である文化課では文化財を担当し、同市所在の国指定史跡会津新宮城跡の発掘調査も行う。

新宮城跡の発掘調査で出土した大型木組遺構内部現場で撮影。中世のお城では、日本でも希有の規模の木組遺構(4.7m四方、深さ4m)全体を掘り出して残された表情の記念写真



丸山芳子 (マルヤマヨシコ)

福島県生まれ。東京都在住。地球上の生物であり、社会的存在でもある人間とはどんな生き物か? という興味から、国内外の多様な地域の人々と関わり、理解を深めつつ、インスタレーションや絵画作品を発表している。プロジェクト「精神の〈北〉へ」を企画。地域に深く根を張った伝承から、人々の精神世界を想像してみる。

サナギのとき 2013年



地域学研究
アート

けものよ、ここにヒトがいます

菅家博昭 (カンゲヒロアキ)

1959年生まれ。宿根カスミソウ栽培・生産の専業農家(出荷時期は6~10月)。1984年から花の栽培を開始。同年昭和花き研究会の設立に参加し、現在、同会・会長。2004年に会津書房の遠藤由美子さんと「会津学研究会」を設立。雑誌「会津学」を創刊。本年度最終刊を発行する見込み。

撮影:中川 潤



トークセッション

第2部

2014. 9月7日(日) 15:10-16:00

6名全員によるディスカッション。〈北〉の新たなイメージがここから広がる。

〈北〉への語り



交通のご案内:

- 列車
東北新幹線 郡山駅から磐越西線
会津若松・喜多方方面に乗車
JR東日本
<http://www.jreast.co.jp>
- 高速バス
JRバス関東
<http://www.jrbuskanto.co.jp>
会津バス
<http://www.aizubus.com>
新宿から喜多方まで約5時間
- 自動車
会津若松ICより約40分

東町蔵屋敷「会陽館」多目的スペース

福島県喜多方市東町4088番地1 元「ろくさい」

入場無料 (予約不要)

お問い合わせ先:

NPO法人まちづくり喜多方 0241-22-1026
9:00~17:00 土日祝は休業

精神の〈北〉へ vol.3

主催: 精神の〈北〉へ 実行委員会

はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト 実行委員会

助成: 文化庁 平成26年度 地域と共働した美術館・歴史博物館
創造活動支援事業

協力: NPO法人まちづくり喜多方
一般社団法人IORI倶楽部
会陽館 studio mar

